HSIS★NEWS、 vol.5
平成29年11月
発行/株式会社 北海道しんきん情報サービス　〒060-0032　札幌市中央区北2条東7丁目　HBAシステムビル
TEL.011-233-1212(代)　FAX.011-261-1811

Webサイト「北海道すぐれもんShopping!!」導入説明会開催

去る10月25日（水）、信金中央金庫北海道支店で16金庫5団体・企業計29名の参加により、Webサイト「北海道すぐれもんShopping!!」導入説明会を開催しました。

開催にあたり竹谷専務より地域活性化の一環として、地元取引先の隠れた逸品や地元のPRを広く発信していくことを目的に8月1日より当サイトを立ち上げたので多くの金庫に参加いただきたい旨、挨拶がありました。

その後、パイロット金庫として参加いただいている伊達信金舘崎理事長様より、取組み状況の説明がありました。特に営業店担当者を中心とした出店

者支援を行ったことにより、これまで以上に出店者との良好な関係構築に繋がったこと、また、取引先の強みや実態を把握できることから、よき相談相手になれることを確信している旨、説明がありました。

その他、本部竹内推進役様、黒川調査役様より、営業店担当者と出店者への説明を担ったこと、facebook等による宣伝を行ったことの説明がありました。

引続き、今回サイトに出店されている、ハム・ソーセージを製造している豊浦S.W.FABRIKの福島代表様から次のようなお話がありました。

・少人数で商品を製造しているため、本サイトが適正と感じている。大手のサイトだと商品製造数の許容範囲を超えてしまう。
・個人事業主だとクレジット決済の手続きは未知なものだが本サイトでは仕組みが整っているので安心。
・「埋もれたダイヤの原石」が各地にあると思うので本会の出席者に宝探しをしていただきたい。

その他に、弊社が動画製作を依頼している(株)ノースアンビシャス様より、次のような話がありました。

・北海道を盛り上げていきたいという思いに共感しているので、皆さんと一緒に新しい風を吹かすチャレンジをしていきたい。
・生産者の商品に対する思いについて、映像を通して伝えていきたい。

また、本サイトの決済関係をお願いしている(株)しんきんカードの植草部長様より、本サイトの販路拡大に向けHSISと協力して、しんきんカード会員80万人にPRしていきたいとの説明がありました。

その後、活発な質疑応答が行われ、盛会裏のうちに終了しました。

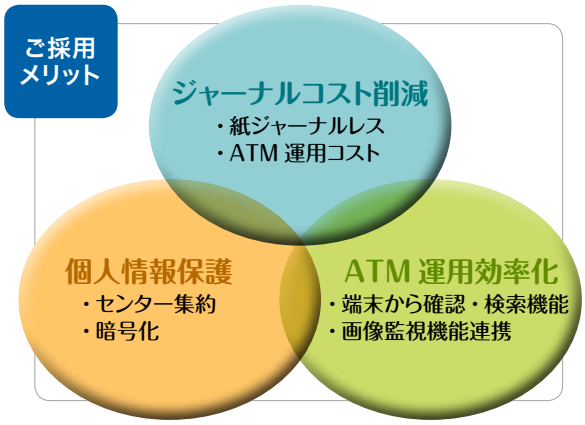
「ＡＴＭ電子ジャーナル集中管理システム」の導入推進について

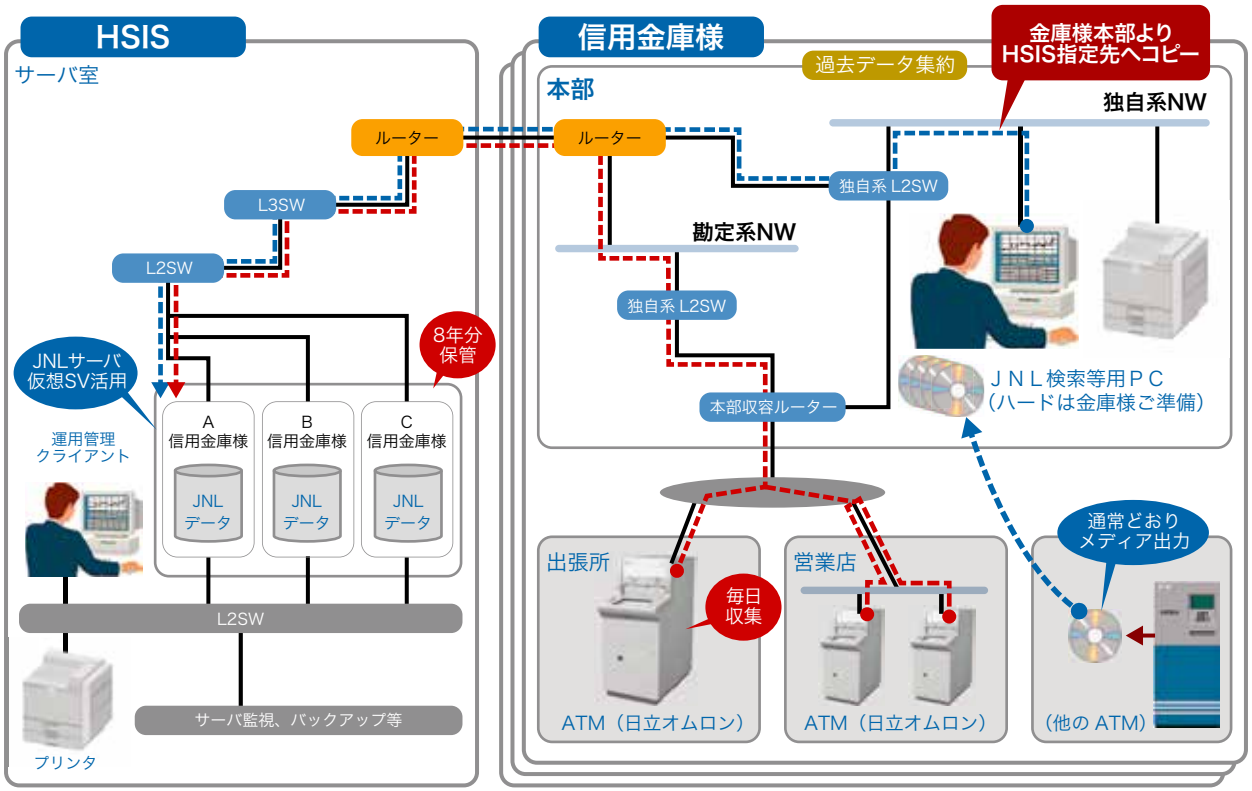
ＡＴＭジャーナルの保管については、ロール紙やＣＤ－ＲＯＭ等で行われておりますが、個人情報の漏洩対策や管理・運用、保管場所の確保等に多くの手間と負担がかかっていることから、ＡＴＭに保管されているジャーナルを電子化し、（自動）収集・保管ならびに容易に検索ができるシステムが欲しいとのご要望をいただき、数年に亘り検討を進めておりました。

検討の経緯につきましては、共同センター側で検討していた各ATMメーカー共通インターフェイスの動向もありましたことから、本案件については暫く様子をみることを余儀なくされておりましたが、将来的な見通しが立ったことや、予てから本システム導入に強い希望をお持ちの金庫もあり、日立オムロンが提案する最も実現性の高いスキームの下、本システム導入の運びとなりました。

現在は、お陰様で数金庫から利用のご希望をいただき、平成 30 年４月の稼働に向けて検討を進めておりますが、弊社仮想基盤の有効利用とともに、金庫にとっても多くのメリットが見込まれる本「ＡＴＭ電子ジャーナル集中管理システム」について、是非ともご検討いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

【お問合せ先：企画・営業推進部】





■日立オムロン製 ATM 電子ジャーナルデータを一元管理するサーバを HSIS の仮想基盤へ構築

■他社ATMから出力されたディスクを本部 PC から当社のサーバへファイルコピーすることを想定

各メーカーの過去データ、日立オムロン以外のATM データは、各社ご提供の閲覧ツールにより金庫様本部にて検索可能です。

■ATM- 本部間は勘定系 NW の利用が可能

出資配当金支払通知書返戻管理システムのご紹介

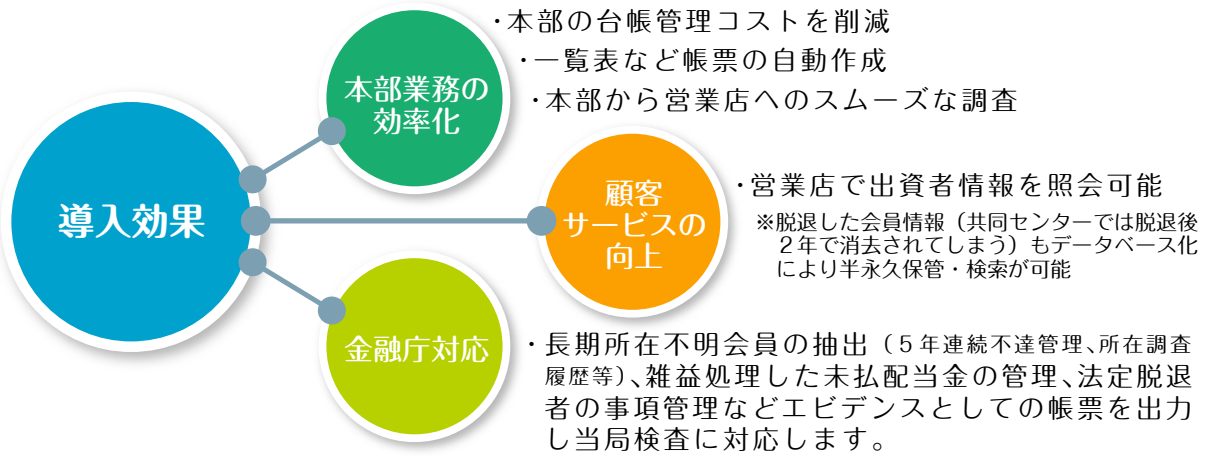
出資業務における配当金支払通知書の返戻郵便物の取り纏めや管理には多くの手間と時間がかかるとの声を受け、当社ではこの作業負担が大きい部分をシステム面からサポートできる「出資配当金支払通知書返戻管理システム」を導入推進しております。

本システムは、不達郵便物管理機能をはじめ、証券履歴・未払配当金履歴等の管理機能、更にＴＭ端末より除名対象者情報を一括登録するリエンタ機能を実装しております。

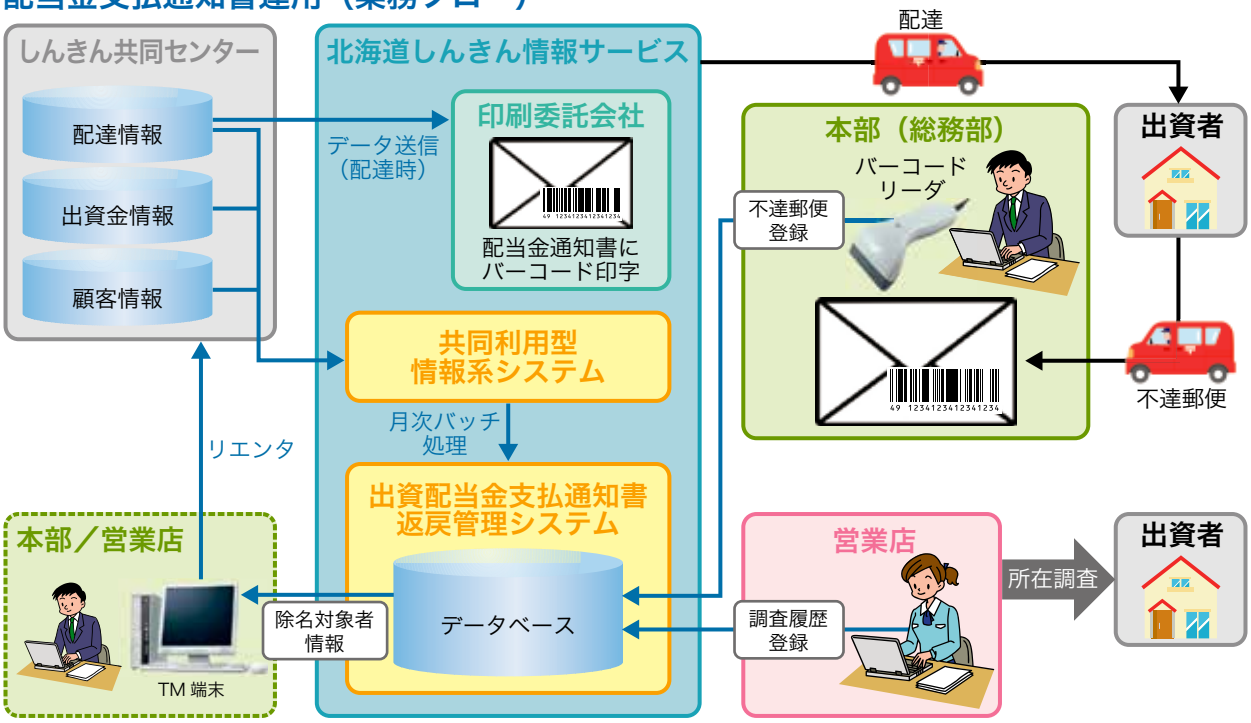
先般、導入をご検討いただいた数金庫向けに詳細なデモ説明を行い、皆様から前向きなご利用意思表明をいただきました。また、デモの際にご要望いただいた「除名対象者の内容証明郵便を一括で出力する機能」を新たに追加すること等、ご要望に対する柔軟な対応により、更に機能を充実させております。

共同利用型を採用することで、お求め安い価格でのご提供となっておりますので、出資業務における本部業務の省力化、顧客サービスの向上が期待できる本システムのご利用を是非ともご検討いただきますよう、よろしくお願いいたします。

【お問合せ先：企画・営業推進部】



配当金支払通知書運用（業務フロー）



共同利用型情報系システム更改

当社「共同利用型情報系システム」につきましては、本年 10 月 23 日（月）に無事更改を迎えました。

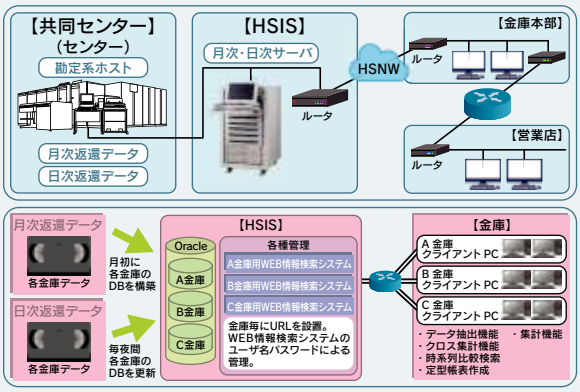
当システムは、従来、北海道信金共同事務センターに加盟している全金庫が利用するシステムとしてご提供しておりましたが、共同事務センターの組織統合により平成 26 年４月から当社が業務を継承し現在に至ります。

更改にあたり、旧システム専門委員会を通じて提供内容をはじめ、金庫保有補完システムとの二重保有データの最小化や費用負担方法を主軸に検討を重ねて参りました。その結果、他ベンダーの補完システムご利用金庫のデータ連携機能を追加しても従来の価格より安くご提供が出来ることから、日本電気㈱が提供するシステム(RETRIEEM)にて更改することとなりました。

新システムの現状につきましては、10 月 23 日（月）の更改後も、無事安定稼働を確認しております。更改にあたり、アンケート調査や委員会での議論等、多大なるご協力を賜りましたこと、この紙面をお借りし心より感謝申し上げます。

これからも、当社システムを安心してご利用いただけるよう、より一層努力して参りますので、今後もご愛顧賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

システム構成図



第３回システム検討委員会開催

去る 10 月６日（金）、ホテルニューオータニイン札幌（２階 北斗の間）にて第３回システム検討委員会を開催いたしました。

今回の委員会は、オムロンフィールドエンジニアリング北海道㈱が開催する「ＳＴ会」とも日程を合せての開催となりました。

次の議題について話し合い、出席委員の皆様には様々な意見をあげていただき、大変活発な委員会となりました。

＜議題＞

・イメージデータ保存・検索システムにおける電子帳簿保存法改正（スキャナ保存）に伴うご提案について
・ＡＴＭ電子ジャーナル集中管理システムの状況について
・電子公告調査（Ｇ－ＣＡＮセンター）活用のご提案について
・ＨＳネットワーク更改のお願いについて
・ネットワーク型電子帳簿保存・検索システム（Pandora）の今後について
・基幹系システム更改に伴うＡＴＭ等臨時休止ポスター等の取扱について
・情報交換書による意見交換
・その他

〔お知らせ〕

次回第４回システム検討委員会は、平成 30 年１月開催を予定しております。